

NHK大河ドラマを活用した誘客促進

- 豊臣秀長公ゆかりの地である大和郡山市をはじめ県全体への誘客促進と県内周遊、県内関連自治体の地域振興と機運醸成を図るため、NHK大河ドラマを契機とした取組を実施
 - ① 豊臣秀長公をテーマとした、県全体の魅力発信も含めた複合的な誘客プロモーションの実施（観光パンフレットの作成、特設HP及びSNSメディア等を活用した発信、県内周遊企画など）
 - ② 豊臣秀長公ゆかりの自治体と連携した周遊企画や相互の誘客を促進する連携プロモーションの実施
 - ③ 「奈良県大河ドラマ「豊臣兄弟！」観光推進協議会」による旅行博等への出展・地域イベントの開催等



郡山城（大和郡山市）



「豊臣兄弟！」観光推進協議会
設立記念セレモニー
(R7.5.29県コンベンションセンター)



PRブース出展の様子

〈問い合わせ先〉 ①② 観光局観光力創造課 神崎課長補佐（内線63153）
③ 観光局観光戦略課 野坂課長補佐（内線63116）

中央卸売市場の再整備

食の流通拠点としての機能を備え、奈良県民の食の安全・安心を確保する「市場エリア」と、市場の機能や立地を活かし、地域の賑わいを創出する「賑わいエリア」について、親和性のある一体的な整備を行う。

市場エリア（市場機能の高機能化・効率化）

- ・食の流通拠点機能を充実させ、持続可能な市場を目指す。
- ・両エリアの一体的な整備を念頭に置きながら、先行して整備

賑わいエリア（「食」を通じた地域の賑わい拠点創出）

- ・「食」と親和性の高い一般消費者向けの賑わいを創出
- ・市場機能の強化、活性化に資する施設の整備についても検討

中央卸売市場再整備推進事業

R 8 予算案 8.5億円 (R 7 予算 3.4億円)
R 9 債務負担行為 16.1億円

- 市場エリア整備事業者の再募集 等
- 埋蔵文化財調査

本掘調査：市場北側用地

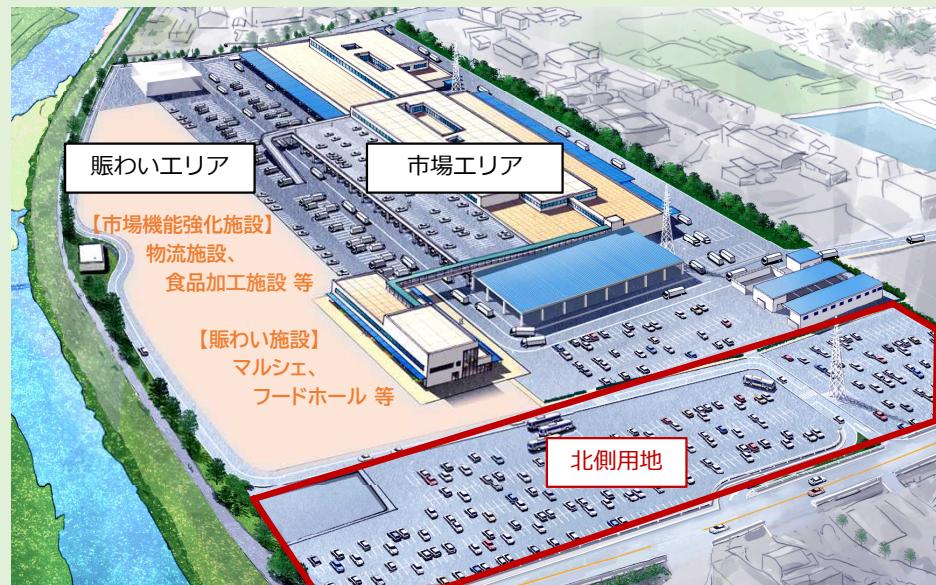
試掘調査：現市場敷地

- 市場北側用地の造成工事 (R8～R9)

工事面積：約3.8ha

工事内容：造成、水路改築、調整池整備 ほか

【再整備後のイメージ】



※ 賑わいエリアの整備内容は市場エリアの整備中に検討するため現時点では未確定

県産農産物等の海外への販路拡大を支援

人口減少に伴い、国内における農産物の需要の縮小が見込まれる中、農業者の所得向上を実現するための取組を実施

①海外での販売プロモーション

R 8 予算案 5,638万円 (R 7 予算 4,128万円)

- ・海外小売店や飲食店での奈良県フェアの開催
- ・海外における県産農産物等のニーズ調査
- ・国内外の展示商談会出展による県産食品の販路拡大
- ・生産者向けに輸出セミナーを開催



香港の高級スーパーでの販売プロモーション



展示商談会(FOODEX JAPAN)出展による県産食品の販路拡大

②新県産農産物の輸出促進に向けた生産拡大を支援

R 8 予算案 295万円 (R 7 予算 -)

- ・イチゴ：輸出に取り組む生産者の組織化を支援
- ・茶：海外向け病害虫防除技術を普及



輸出向け品種として期待される
「古都華」(写真左)、「奈乃華」(写真右)



海外で需要が高い
てん茶

③県産農産物の輸出を支援する研究開発

R 8 予算案 754万円 (R 7 予算 850万円)

- ・イチゴの長距離輸送に向けた果実品質保持技術の開発
- ・輸出向け茶の無農薬栽培技術の確立
- ・輸出拡大に対応する切り枝花木の生産技術開発



イチゴ「古都華」



大和茶



切り枝花木
(アセビ)

〈問い合わせ先〉

- ① 食農部豊かな食と農の振興課 下浦課長 (内線63332)
- ② 食農部農業水産振興課 奥谷参事 (内線63362)
- ③ 食農部農業水産振興課 馬場課長補佐 (内線63364)

1 文化施設の整備（ハード事業）

① 奈良県文化会館の整備・運営

R 8 予算案 118.8億円 R 9～24債務負担行為 54.7億円
(R 7 予算 41.4億円)

- ・「音楽系を軸とした多彩な舞台芸術の殿堂」を目指して整備
- ・民間事業者の柔軟な発想と経営力を活用するため、運営に県有施設で初めて「コンセッション方式」を導入



文化会館完成イメージ
(上の写真から時計回り)
鳥瞰図、アトリウム、
音楽小ホール(新設)、
国際ホールロビー



② **(新) 県立美術館の整備に向けた基本計画の策定**

R 8 予算案 4,695万円 (R 7 予算 -)

③ **(新) 近鉄百貨店橿原店に貸展示室(ギャラリー)を開設**

R 8 予算案 9,490万円 (R 7 予算 -)

2 文化活動の充実（ソフト事業）

R 8 予算案 1.6億円 (R 7 予算 1.7億円)

- ① Nara for Culture (ムジーク) の実施
- ② 奈良県みんなでたのしむ大芸術祭の開催
- ③ ジャパン・ナショナル・オーケストラとの連携
- ④ 県立ジュニアオーケストラの運営
- ⑤ 県美術展覧会・県ジュニア美術展覧会の開催
- ⑥ **(新) 県立美術館と忠南美術館の交流推進**



文化の振興

1 文化施設の整備（ハード事業）③(新)近鉄百貨店橿原店に貸展示室（ギャラリー）を開設（再掲）

■ 検討の経緯

- 橿原文化会館の主な機能を新アリーナに移管し、展示機能については、近鉄大和八木駅周辺で代替を検討すると公表
(R6.1.4知事定例記者会見)
- 「文化会館・美術館及び周辺整備基本計画(H27)」により、県立美術館に県民ギャラリーの設置を予定していたが、登大路瓦窯跡の出土等により文化会館を先行整備。このため、展示室が使用不可
- 県立美術館のリニューアルオープンには10年程度を要する見込み

[P.28、1③]

これらを踏まえ、近鉄百貨店橿原店6階催会場スペースに貸展示室（ギャラリー）を設置（約700m²）

■ スケジュール（予定）

- 令和8年3月 新展示室利用料金設定
4月 新展示室予約受付開始
8月 新展示室オープン

■ 新展示室の貸出

全室利用と分割利用を設定

■ 利用料金（予定）

		全日（午前10時～午後7時）
全室 (第1+第2)	土曜日、日曜日及び休日	38,400円
	平日	29,600円
分割 第1ギャラリー	土曜日、日曜日及び休日	22,700円
	平日	17,500円
第2ギャラリー	土曜日、日曜日及び休日	15,700円
	平日	12,100円

休館日：年末年始及び木曜日



ギャラリー間の分割ライン（予定）

■ 設置期間（予定）

5年間。利用状況等をふまえて継続を検討

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進

**R 8 予算案 5.4 億円 R 9 債務負担行為 700 万円
(R 7 予算 6.3 億円)**

1. 観光客等にとって魅力ある「飛鳥・藤原」の説明力強化

① 「飛鳥・藤原の宮都」の令和8年夏の世界遺産登録を目指した事業の実施
R 8 予算案 0.3 億円 (R 7 予算 0.3 億円)

- ・第48回世界遺産委員会への出席、現地プロモーションの実施 (韓国・釜山)
- ・審査状況の中継を含む地元でのパブリックビューイングの実施
(ほか)



第47回世界遺産委員会での審議の様子

② 「飛鳥・藤原」情報発信施設磨き上げ
R 8 予算案 0.7 億円 (R 7 予算 0.9 億円)

- ・「飛鳥・藤原」ガイダンスエリア (万葉文化館) 開設に伴う映像コンテンツ制作 (ほか)

③ 「飛鳥・藤原」来訪者への魅力あるイベント・展示の開催
R 8 予算案 0.8 億円 (R 7 予算 0.2 億円)

- ・特別展「高照らすみやこ—描かれた「飛鳥・藤原の宮都」—」の開催
- ・**新** 飛鳥宮復元模型の制作・展示
「飛鳥・藤原」関連出土品の展示
(橿原考古学研究所附属博物館)
(ほか)



万葉文化館

④ 史跡飛鳥宮跡及び史跡・名勝飛鳥京跡苑池の保存と整備の推進

R 8 予算案 1.4 億円 債務負担行為 700 万円
(R 7 予算 2.8 億円)

- ・飛鳥宮跡及び飛鳥京跡苑池の公有化、発掘調査
- ・飛鳥宮跡および飛鳥京跡苑池の本格整備に向けた検討
(ほか)



発掘調査現場の公開

<問い合わせ先> 地域創造部 ③文化振興課 田中課長補佐 (内線61123) ③④文化財課 大西課長補佐 (内線61153)

①②④世界遺産室 岡本室長補佐 (内線61222)

まちづくり推進局 ④公園企画課 甲賀主幹 (内線64195)

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進

2. 快適な「飛鳥・藤原」周遊環境の整備

R 8 予算案 1.0 億円 (R 7 予算 1.1 億円)

⑤道路案内標識、観光案内サイン等の県が管理する標識、看板等の維持管理

⑥「飛鳥・藤原」の構成資産の交通対策検討の支援

⑦ **新** 地域DMO等と連携した広域周遊プラン・観光コンテンツの充実と高付加価値化を促進

⑧古都買入地の管理・整備

⑨明日香村が実施する歴史的風土の創造的活用を図る事業を支援 ほか



飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池

3. 「飛鳥・藤原」の更なる魅力の発信

R 8 予算案 1.2 億円 (R 7 予算 1.0 億円)

⑩多言語パンフレットの作成・配布

⑪構成資産 VR 映像の多言語解説音声制作

⑫飛鳥・藤原地域及び県内周遊における国内・海外向け情報発信・プロモーションを強化

⑬魅力発見と情報発信につながる史跡周辺農村地域での農作業体験メニュー等の検討 ほか



「飛鳥・藤原」公式HP

＜問い合わせ先＞知事公室

地域創造部

環境森林部

観光局

食農部

県土マネジメント部

⑨美しい南部東部振興課 西川課長補佐 (0744-48-3015)

⑩⑪世界遺産室 岡本室長補佐 (内線61222)

⑧景観・自然環境課 堀川課長補佐 (内線62702)

⑦観光力創造課 河崎課長補佐 (内線63154) ⑫観光力創造課 神崎課長補佐 (内線63153)

⑬農村振興課 中村主任調整員 (内線63505)

⑤道路マネジメント課 松本課長補佐 (内線63833)

⑥リニア・地域交通課 岡方課長補佐 (内線63872)

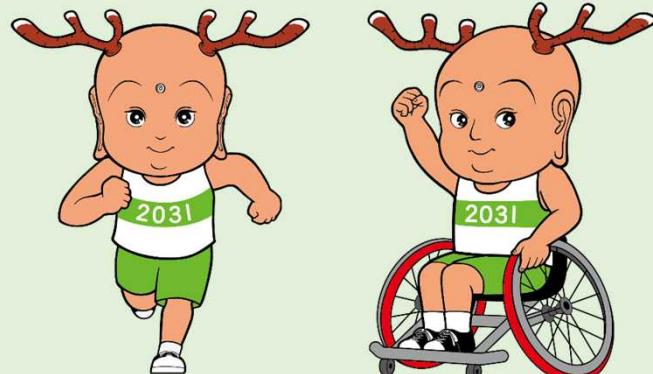
国スポ・全スポ奈良大会準備の推進

**R 8 予算案 7.2億円 R 9 債務負担行為 0.7億円
(R 7 予算 5.8億円)**

①国スポ・全スポ大会準備委員会の運営

R 8 予算案 4,729万円 (R 7 予算 2,100万円)

- ・令和13年の国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会開催に向けた、大会準備委員会の運営



▲大会マスコットキャラクター「せんとくん」

②市町村の競技施設の整備を支援

R 8 予算案 2.5億円 (R 7 予算 2.0億円)

- ・市町村等が行う、大会の競技会場となる施設の整備・改修に要する経費に対し補助

〈問い合わせ先〉 地域創造部

①②国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室 小林主幹 (内線61374)

③スポーツ振興課 松原課長補佐 (内線61342) 、④スポーツ振興課 市井課長補佐 (内線61344)

③スポーツ拠点施設の整備

R 8 予算案 1.5億円 R 9 債務負担行為 0.7億円
(R 7 予算 1.6億円)

- ・整備基本計画を踏まえ、橿原公苑陸上競技場・野球場の改修設計、新弓道場の設計等を実施

④競技力の持続的な向上、スポーツ人材の育成

R 8 予算案 2.8億円 (R 7 予算 2.0億円)

- ・(公財)奈良県スポーツ協会への事業補助を通じ、アスリートや指導者の活動を支援
- ・将来の活躍が期待できるジュニアアスリートを発掘、育成



▲未来のトップアスリート発掘育成事業

1. 住民の福祉の向上及び生活の安定と力強い市町村づくり

R 8 予算案 1.1 億円 (R 7 予算 1.1 億円)

- ①市町村が大学・研究室、民間事業者等と連携して取り組む事業に対し補助
- ②^新 南部・東部地域の市町村の人材確保を支援するため、民間の就職情報サイトを活用した情報発信や合同説明会を実施 (次ページ参照)
- ③地域支援員が、南部・東部地域の地元ニーズを把握し、南部東部振興の調整を図る

ほか

2. 産業の振興及び雇用の創出

R 8 予算案 0.2 億円 (R 7 予算 0.2 億円)

- ④雇用創出を促進するためのプログラムを実施
 - ・奥大和地域での地域リーダー育成プログラム
 - ・奥大和地域での学生就業支援プログラム
 - ・地域産業のブランド力向上プログラム

ほか

3. 魅力ある地域づくりの推進

R 8 予算案 1.7 億円 (R 7 予算 1.6 億円)

- ⑤奥大和移住定住交流センター engawa を運営
- ⑥移住体験プログラムの実施
- ⑦移住・定住等を促進するための取り組みを実施
 - ・^新 空き家・空き店舗の発掘、利活用を推進
 - ・移住体験、地域交流等の拠点施設整備を支援
- ⑧奥大和地域の豊かな自然を活かしたアウトドア・スポーツツーリズムの推進
 - ・トレッキング・サイクリングルートの発掘・整備等
 - ・トレイルランニングイベント「Kobo Trail」の開催
- ⑨遊んで、学んで、家族で楽しむ「うだ・アニマルパーク」の新たな魅力を創出
- ⑩奥大和の自然や歴史風土や生活文化等の魅力の発信

ほか



奥大和移住定住交流センター「engawa」



「奥大和アウトドア・スポーツツーリズム」

〈問い合わせ先〉 ①～③
知事公室 ④～⑧⑩
⑨

美しい南部東部振興課 西川課長補佐 (0744-48-3015)
奥大和地域活力推進課 足立課長補佐 (0744-48-3016)
うだ・アニマルパーク振興室 乾室長補佐 (0745-83-2563)

南部東部地域の振興 ～南部・東部地域の市町村の人材確保～ [P.33、1②]

- 南部・東部市町村では、受験者数の減少、辞退の増加により、採用予定人数を確保できていない
 - 組織力や行政サービスの低下、ひいては地域の衰退につながるおそれがあり、課題1～3への対応が必要
- ▼
- **県が、リクルート活動(情報発信、合同説明会の開催)の支援を実施** (課題1の対応)
 - あわせて、各市町村が、採用スケジュールの見直し、組織体制の確保に取り組むことが必要 (課題2、3の対応)

課題1

求職者に対し効果的なリクルート活動を実施できていない



県がリクルート活動を支援



採用パンフレット・SNS広告イメージ

(1) 受験者を増やすための「情報発信」の強化

- ① 採用パンフレットの作成【R8. 2月発行】
- ② 採用WEBページの作成【R8. 2月公開】
- ③ SNS広告等の実施【R8. 1月～配信】

(2) 志望度を高めるための「対面機会」の拡大

- ④ 合同業務説明会の開催【R8. 2月開催】

新 **令和8年度以降、取組の充実を図る**
・インターンシップ
・就職・転職イベントへの出展
・大学説明会の開催 等

課題2

求職者の就活スケジュールに合わせた採用活動になっていない



求職者等のスケジュールにあわせて情報発信や採用試験を実施(早期化)することが必要
少なくとも、前年度中の試験情報の公表が必要

9割の学生が4月までに面接を受けている
9割の学生が6月までに内々定をもらっている (内閣府調査)

課題3

組織体制が十分に確保されていない



効果的なリクルート活動、採用活動を実施するためには、組織体制の強化、庁内の協力が必要